

特許の成果

1998年の新規登録権利の中から、他社への実施許諾が予測されるものなどを、成果の一端として紹介する。

□特許第 2647118 号「無線通信方法」

発明者：芹澤 睦

イーサネットにサーバと複数の無線基地局が接続され、移動局とサーバ間の通信を基地局を介して行う無線通信方法で、基地局側に移動局の位置情報を記憶しておくことにより、移動局／サーバ間とサーバ／移動局間(逆方向)で同じ基地局を利用し、低送信電力を実現する。

□特許第 2685751 号「化合物超伝導線」

発明者：芳野 久士, 他 2 名

金属シース材内部に酸化化合物超伝導体を形成する材料を充填し、これを減面加工した後に熱処理を施すことで、臨界温度の高い化合物超伝導線を得る。

□特許第 2839613 号「位置合わせ方法」

発明者：原田 種真

液晶基板の端子部に形成された端子列とこれに接合されるTAB部品に形成された端子列を位置合わせするに際し、各端子列の両端部の対向する複数本ずつの端子を、撮像装置の一視野内に互いにわずかな距離を離間して配置して一括認識し、互いの端子の位置ずれを検出して位置合わせを行う。

□特許第 2609667 号「無線電話装置」

発明者：梅本 祐司

有線回線に接続される親装置と、この親装置に無線回線を介して接続される無線電話機とからなる無線電話装置において、無線回線の接続状態を無線電話機にて表示することにより、発呼の際、使用者はダイヤル番号入力が可能になったことを知り、誤操作を防止できる。

□特許第 2795967 号「乗車券発行機」

発明者：須田 好武

定期券を所持した利用者が定期券利用区間外の駅から乗車する際に、券売機に定期券を投入することにより、当該利用区間外の駅から定期券利用区間内の駅までの乗車が可能な切符を発行する自動券売機。

□特許第 2612116 号「CT装置」

発明者：荒舘 博

被検体のCTスキャン→逐次再構成処理→表示を行っているときに、被検体とCTスキャン手段との相対移動方向を任意のタイミングで変更し、CT画像を連続的に観察しながら診断部位・スライス位置を正確に確定できる。

□特許第 2693458 号「電子機器及び表示データ転送方法」

発明者：善田 浩輝

コンピュータ本体からケーブルを介してディスプレイに表示データを送信する際に、本体側でデジタルの表示データをアナログデータに変換し、送信されたアナログデータをディスプレイ側で再度デジタルに変換し表示することによりケーブルの信号線を減らし、電波輻射の影響を防止できる。

□特許第 2793402 号「画像符号化装置」

発明者：佐々木 実

本来の符号化に先立ち所定の符号化特性で一部画像の複数回の符号化を行い、それら符号化出力から目標とする総符号量を得るための符号化特性を求め、この符号化特性で全画像の画像信号の符号化を行うことにより、高速処理で画面全域に最適な符号化を可能とする。

□特許第 2704150 号「加熱調理器」

発明者：朱雀 孝道

回転ダイヤルで調理メニューや調理時間を設定し、このダイヤル中央部を押圧して、調理をスタートする構成にすることで、操作パネルの操作部分の構成の簡素化と、操作向上を図る。

□特許第 2132571 号「空気調和機」

発明者：土屋 泰利

最大定格電流値を上限とする最大入力電流値を手動操作で設定すると共に、入力電流値が上記設定値以上流れないようにインバータ出力を制御し、他の電気器具と同時運転してもブレーカの作動がなく継続運転できる空気調和機。

□特許第 2135160 号「プラント監視制御装置」

発明者：福本 亮

プラント系統表示手段上の特定機器をタッチするとその機器の操作スイッチを同一画像に表示し、次に新たな特定機器をタッチすると先の操作スイッチを消去して新たな機器の操作スイッチを表示して操作可能なプラント監視制御装置。

□特許第 2695966 号「舞台機構制御装置」

発明者：高橋 理子

吊り機構などを制御する舞台機構制御装置に関し、劇場の実機を作動させなくてもパソコンなどで正確なシーンデータを得られる。このため、劇場を借りなくても仕込データを自動設定でき、合理性がチェックでき、安定した演出ができる。

□特許第 2134166 号「カラー受像管」

発明者：諸橋 勝栄, 他 1 名

カラー受像管の管内部品のシャドウマスクを支持する弾性支持体を 2 枚の弾性片に固着したくさび形とし、一方の弾性片の厚さと他方の弾性片の厚さを特定することで、動作中の温度上昇による画面の色ずれや外部衝撃に強い構造とする。

□特許第 2818391 号「露光装置」

発明者：柳澤 俊夫, 他 1 名

マスクパターンを基板上のレジストに投影して露光する装置に関し、マスクパターンを等倍を超えて拡大投影することで、全体の露光時間が短縮され、これにより生産性を向上できる。

□特許第 2680468 号「半導体装置」

発明者：蓮沼 正彦, 他 5 名

半導体基板に絶縁層を介して設けられた単層もしくは多層の電極配線のうちの少なくとも一層が最稠(ちゆう)密面配向されており、その配向分布の尺度としてX線回折法を使って判定した最稠密面θスキャン配向分布の全半値幅が6度以下であることを特徴とするもので、耐エレクトロマイグレーション及び耐ストレスマイグレーション性が向上できる。